



嘉倉 治  
たかくら おさむ

定住促進策と空き家対策について

Q 空き家対策に関する計画書が策定されるようだが基本方針について。

A 基本方針として①空き家の発生予防②空き家の利活用③空き家の適切な管理④管理不全空き家を解消し「若い世代、若い世帯の転入者を増やす政策」を重点施策として取り組んでいる。

Q 空き家相談会の実施状況と改善策について。

A 日の出町空き家等対策の推進に関する協定書を締結している東京都宅地建物取引業協会の協力を頂き「空き家相談会」を実施している。第3回目は令和6年1月26日実施予定となっている。先進自治体などはホームページ上で空き家バンクの開設や、リフォーム代の補助金を創設するなど展開しているが当町でも積極的に推進するべきでは。

A (課長)

先進自治体等を参考に検討し、出来ることから行っていききたい。

Q 「改正空き家対策特措法」により、管理不全空き家は住宅用地特例である6分の1減額の解除を市区町村長が措置できるが、町長の見解は。

A 町としては必要に応じて適切に対応していきたい。

A (課長)

町道セツトバック部分の改善策に関して

Q 優先順位をつけ出来ることから取り組むべきでは。

A (副課長) 現在事業計画を起案し、決裁中の案件で、方策や予算は未定である。



玉井 大  
たまい ひろし

ラーケーション導入について

Q 公立の小中学校などで平日に年間3日の休みが取れる取り組みであるが導入の考えは。

A (室長) ラーケーションの日の設置の成果や課題の検証、国やその他の自治体の動向を注視していく必要から導入は考えていない。

公園の整備、インクルーシブ(全てを包括する、包み込む)公園化について

Q 公園は、障がいの有無にかかわらず誰もが一緒に遊べる場所であればならない。色々な人々が集える公園を目指し遊具等を見直す考えは。

A (課長) 日の出町行政改革(その5)では公園事業の充実を掲げており、既存の公園の充実を図る事を目標とし、安全で安心して利用できる都市公園を目指しインクルーシブ公園化についても研究していく。

Q ボールで遊べる公園がない。例えばサッカーであれば人工芝のフットサル場、野球であれば、キャッチボールが出来る公園について、町の考えは。

A (課長) 本格的なスポーツを行うためにはある程度広さが必要。公園の在り方や整備方針等を検討していく。

消防団員、女性消防隊員の減少対策について

Q 消防団員、女性消防隊員の減少対策についてPR動画作成等積極的に勧誘してはどうか。

A (課長) 紙面の勧誘だけでなくPR動画によって勧誘につながれば理想である。

Q 入居者への優遇措置について町営住宅等への優先入居のシステムづくり等してはどうか。

A (課長) 制度的に研究していく必要がある。

